

## 占領に抗する妨害工作

1944年7月2日日曜日、こちらは自由ポーランドの声、〈ラジオ放送局いかづち〉。ゲシュタポを出し抜き、ワルシャワからお送りします。まず、〈国内軍〉特別法廷は、死刑判決を以下2名に下しました。1名はゲンシュフカ強制収容所の所長であるアウグスト・クレッチュマン、もう1名は祖国を金で売った俳優のイゴ・スィムです。イゴ、〈ラジオ放送局いかづち〉は、あなたを見損ないました。

次に、意欲溢れる若い愛国者の中に、ドイツの新聞を偽造し発行している方々がいるそうです。偽造新聞によりますと、〈国内軍〉によってドイツ軍の運命は風前の灯火だ、とあるそうです。首謀者が誰かは知りませんが、熱意に敬意を。その日はすぐにも来ることでしょう。

ドイツに抗うポーランド人の声、〈ラジオ放送局いかづち〉でした。



旧市街地区:“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ポヴォズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲットーの廃墟、1943年に破壊された。

ワグニェ工業地域。チェルニャコフスカ通り。ワグニェ地区:ワグニェスキ駅。キエリェエツ橋。ワルシャワ動物園。動物はいないが(進歩的なヤン・ジャベンスキ園長のおかげで)市外へ逃げるユダヤ人の一時避難所になっている。

## ナチスの緊張が高まる

1944年7月27日木曜日、こちらは〈ラジオ放送局いかづち〉。速報です！ 4日前、ルヴフの〈国内軍〉部隊がソヴィエト軍との連携のもと武装蜂起に至り、そして本日、ルヴフが解放されました。素晴らしいニュースです。

ラジオ・モスクワはポーランド全土での一斉蜂起を繰り返し訴えています、〈国内軍〉は機が熟するのをまだ待った方が良いと考えています。ポーランド人が今しばらく自重するすよう、最高司令官は求めています。ですが長く待つ必要はありません。今週すでに多くのドイツ国旗が引き下ろされ、踏まれ、泥にまみれました。またポニャトフスキ橋の街灯には「ドイツ人をここに吊るせ」の札が掲げられています。その日はすぐです。

自由ポーランドのため、〈ラジオ放送局いかづち〉がお送りしました。



ヴォラ地区:カーセリ広場。ポヴォズスキ墓地。カムレル家具製作所。警察署。ゲンシュフカ監獄とKZ。ワルシャワ強制収容所。ゴルチェフスカ通り。オホタ地区:ガス工場。浄水場。補助電話交換局。補助電話交換局。女性専用

# 1

# 2

## 状況

## 状況

ワルシャワ工科大学。ポーランド銀行。パゾワ劇場。国立美術館。ピウスツキ広場。ワルシャワ大学。ミルノ会館市場。市庁舎。ポニャトフスキ橋。ドイツ管理下のPAST電話交換局。中央警察署。

ワルシャワ近郊地区:カンピナスの森、沼地と砂丘、活動している農場、放棄された農場、別荘、近代的な保健医療協会はピエラニーにある。

旧市街地区:“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ポヴォンズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲッターの廃墟、1943年に破壊された。

ワグニェ工業地域。チェルニャコフスカ通り。ブラガ地区:ワレンスキ駅。キェルビェツ橋。ワルシャワ動物園、動物はいないが(進歩的なヤン・ジャビンスキ園長のおかげで)市外へ逃亡するユダヤ人の一時避難所になっている。

ヴォラ地区:カーセリ広場。ポヴォンスキ墓地。カムレル家具製作所。警察署。ゲンシュフカ監獄とKZ。ワルシャワ強制収容所。ゴルチェフスカ通り。オホタ地区:ガス工場。浄水場。補助電話交換局。補助電話交換局。女性専用

がん病院、マリ・キェリ研究所。イエロプリムスキエ大通り(イエルサレム大通り)。モコトワツ地区:ワルシャワ中央印刷工場、警察指揮所。スウジェ

# 決起！

〈ラジオ放送局いかづち〉から速報です！ 〈国内軍〉の伝令から、最高司令官のメッセージが届けられました。

「ワルシャワの兵士諸君！ 本日1944年8月1日火曜日、ポーランド長年の敵である侵略者ドイツに対しての攻撃を発令した。今こそ祖国解放のため武器を取れ。友人たちよ、愛国者たちよ、W時に立ち上がれ！ 全兵士は各自の集結地点に出頭せよ！」

最新情報によりますと、武器の不足のためKB大隊は解体されました。ハル攻撃隊は新しい集合地点に向かってください。ゴルスキ地区の部隊は、本来の指令通り“ソスナ(松)”の支援にあたってください。

本日終日に渡って、当局は皆さんに情報を提供し続ける予定です。リスナーの皆さん、周波数はこのまま。

# 3

旧市街地区：“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ボヴォンズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲッターの廃墟、1943年に破壊された。

## 決死の市街戦

8月2日水曜日、こちらは〈ラジオ放送局いかづち〉、解放後のワルシャワからお送りします。まずお伝えしますのは、武器が欠乏しているにも関わらず、ポーランド軍は前進を続けています。幾つかの地点においてはドイツ軍の拠点に討ち入り、もっとも必要とされている武器や弾薬の鹵獲に成功しています。戦闘は激しいものの戦意は高く、現在ワルシャワの大部分が解放されるに至りました。〈灰偵団〉の伝令によって郵便業務も再開されています。

モスクワは放送で、ポーランド共産党員のみがワルシャワで戦っていると主張していますが、事実ではありません。ワルシャワで発生したあらゆる戦闘において〈人民軍〉とは遭遇していない。これが〈国内軍〉からの情報です。これは“チャタ49”大隊のうち生還した中隊からラドスワフ軍団司令部へなされた報告によるものです。

周波数はそのまま、解放後のワルシャワから〈ラジオ放送局いかづち〉がお送りしました。

# 4

ヴォラ地区：カーセリ広場。ボヴォンズキ墓地。カムレル家具製作所。警察署。ゲンシュフカ監獄とKZ。ワルシャワ強制収容所。ゴルチェフスカ通り。オホタ地区：ガス工場。浄水場。補助電話交換局。補助電話交換局。女性専用

# 3

旧市街地区:“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレニコヴィ橋。ボヴォンズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲッターの廃墟、1943年に破壊された。

ヴイェツ工業地域。チェルニャコフスカ通り。  
ブラガ地区:ヴレンスキ駅。キェルヒェツ橋。ワルシャワ動物園。動物はいないが(進歩的なヤン・ジャビンスキ園長のおかげで)市外へ逃亡するユダヤ人の一時避難所になっている。

# 状況

# 4

ヴォラ地区:カーセリ広場。ボヴォンスキ墓地。カムレル家具製作所。警察署。ゲンシュフカ監獄とKZ。ワルシャワ強制収容所。ゴルチェフスカ通り。

# 状況

## 蜂起の頂点

自由ワルシャワの〈ラジオ放送局いかづち〉が1944年8月4日のニュースをお送りします。ワルシャワ中にバリケードが設置されています。その背後には、戦意に燃えた〈国内軍〉が火炎瓶を手に控え、これまで多くのドイツ軍戦車を破壊してきました。

ドイツ軍は無差別攻撃を続けています。クルレフスカ通りでは多くの家屋が焼失しました。ある家では、定年退職した多数のポーランド人教授が、ナチス親衛隊によって殺されていました。こうした恐怖にも関わらず、〈国内軍〉の士気は高くあります。合言葉は「ドイツ人に死を」。〈灰偵団〉も任務に従事しており、言葉では称えきれません。多くの少年少女が命を犠牲にしています。彼らはボーイスカウトならびにガールガイドの国際的な伝統を守り続けています。

〈ラジオ放送局いかづち〉でした。

5

旧市街地区：“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ポヴォンズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲットーの廃墟、1943年に破壊された。

## 密造ライフルに立ちほだかるは、ドイツの戦車

〈ラジオ放送局いかづち〉から8月7日月曜日の戦況ニュース。最高司令官からのメッセージです、傾聴。

「ポーランド人諸君！ 首都開放のための武装闘争が始まった。この3日間の戦闘は大成功を納めている。〈国内軍〉によってワルシャワの大部分は奪還され、ポーランド人の心には闘争心が、そして勝利の確信が沸き起こっている。ポーランド独立万歳！」

ヴォルスカ通りの聖ラザロ病院、ならびにプシェヤズト通りのカールとマリア病院では、ドイツ軍によって男女を問わず負傷者の惨殺が行われています。自由ヨーロッパの、そしてイギリス海峡の向こうのリスナーの皆さん、.....可及的速やかに武器と弾薬を送ってください。

〈ラジオ放送局いかづち〉でした。

6



# 5

# 6

## 状況

## 状況

ジョリボルシム地区:グダニースク駅。ウカソク広場。装甲列車「パンツナーグ75」。“要塞”、城塞橋。

ワグニヤコフスカ通り。フレガ地区:ワルシャワ動物園、動物はいないが(進歩的なヤン・ジャビンスキ園長のおかげ)市外へ逃亡するユダヤ人の一時避難所になっている。

ヴォラ地区:カーセリ広場。ポヴォンスキ墓地。カムレル家具製作所。警察署。ゲンシュフカ監獄とKZ、ワルシャワ強制収容所。ゴルチェフスカ通り。オホタ地区:ガス工場。浄水場。補助電話交換局。補助電話交換局。女性専用

旧市街地区:“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ポヴォンスコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲッターの廃墟、1943年に破壊された。

中央地区:ポヴィシレ発電所。中央郵便局。プルデンシヤル高層ビル。中央駅。

パヴァリア刑務所。プリユール宮殿。

## 旧市街地区、死守命令

1944年8月14日、〈ラジオ放送局いかづち〉。ワルシャワから15kmほど離れたボウォミンで、ソヴィエト赤軍第3戦車軍団がドイツ軍に包囲殲滅されたとの情報が入りました。

海外の友人たちに心からのお願いがあります。ワルシャワ中心では物資が必要とされています。是非、空中投下をお願いします。ナポレオン広場のプルデンシャルビルはワルシャワで一番高いビルでしたが、完全に焼け落ちました。ワルシャワは荒廃しています。出来立ての墓をまたがなければ、道を歩くことすらままならない場所だらけです。バリケードを守り戦う兵士たちは、汚れ、飢え、着ているものもボロボロです。負傷者しかいないと言っても過言ではありません。兵士の士気は低下しています。

〈ラジオ放送局いかづち〉でした。

7

旧市街地区：“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ポヴォンズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲッターの廃墟、1943年に破壊された。

ワグエツ工業地域。チェルニャコフスカ通り。ワグ地区：ワグレンスキ駅。キェルビエツ橋。ワルシャワ動物園、動物はいないが(進歩的なヤン・ジャレフスキ園長のおかげで)市外へ逃がすユダヤ人の一時避難所になっている。

## 旧市街地区の陥落、そして地下水道が道となる

本日は9月2日土曜日、これが〈ラジオ放送局いかづち〉の最後の放送になります。英国空軍大臣アーチボルト・シンクレア卿にお伝えします。閣下、我々が直面している事態を鑑み、誠に勝手ながらこのラジオ放送で直接お話をさせていただきます。閣下、ワルシャワの現状は致命的です。数日もすれば弾薬は完全に枯渇します。損失ははかり知れません。

昨日、私はある一家と話をしました。彼らは廃墟に三度、家族を埋葬したそうです。彼らは3日間何も食べておらず、またうち3名は負傷していました。死んだ家族のうち2名は殺されました。あらゆる市民が同じ1つの質問を口にしています。「神よ、いつ終わるのですか?」と。

どうか、助けてください。〈ラジオ放送局いかづち〉の放送をこれで終了します。

8

ヴォラ地区：カーセリ広場。ポヴォンズキ墓地。カムレル家具製作所。警察署。ゲンシュフカ監獄とKZ。ワルシャワ強制収容所。ゴルチェフスカ通り。オホタ地区：ガス工場。浄水場。補助電話交換局。補助電話交換局。女性専用

ジョリボルシェ地区：ゾダニス広場。ウホソ広場。装甲列車「バンツナーウーグ75」。"要塞"。城塞橋。

ワルシャワ近郊地区：カンビノスの森。沼地と砂丘。活動している農場。放棄された農場。別荘。近代的健康医療協会まじエラニーにある。

中央地区：ボヴィシレ発電所。中央郵便局。プルデンシャル高層ビル。中央駅。パゾワ刑務所。プリユール宮殿。モコトワ地区：ワルシャワ中央印刷工場。警察指揮所。スウジ。がん病院。マリ・キェリ。キューレー研究所。イエロンリムスキエ大通り(イェルサレム大通り)。モコトワ地区：ワルシャワ中央印刷工場。警察指揮所。スウジ。

ヴォラ地区：カーセリ広場。ボヴォンスキ墓地。カムレル家具製作所。警察署。ゲンシュフカ監獄とKZ。ワルシャワ強制収容所。ゴルチェフスカ通り。オホタ地区：ガス工場。浄水場。補助電話交換局。補助電話交換局。女性専用

## 状況

ワグエツ工業地域。チェルニャコフスカ通り。ブラガ地区：ワレンスキ駅。キェルビエツ橋。ワルシャワ動物園、動物はいないが（進歩的なヤン・ジャビンスキ園長のおかげで）市外へ逃亡するユダヤ人の一時避難所になっている。

ワルシャワ近郊地区：カンピノスの森、沼地と砂丘、活動している農場、放棄された農場、別荘、近代的な保健医協会はピエラニーにある。

旧市街地区：“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ボヴォンズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲッターの廃墟、1943年に破壊された。

## 状況

ワルシャワ工科大学。ポーランド銀行。パゾワ劇場。国立美術館。ピウスツキ広場。ワルシャワ大学。ミルノ会館市場。市庁舎。ボニャトフスキ橋。ドイツ管理下のPAST電話交換局。中央警察署。

ジョリボルシム地区：グダニスク駅。ワルソフ広場。装甲列車「ペンツェーグ75」。 “要塞”。城塞橋。



# ソ連軍は川にたどり着き、そして突如立ち止まる

死んだ〈灰偵団〉の伝令の手に残されていた〈国内軍〉の状況報告書。

1944年9月10日。食糧は危機的状況にあり。水は掘ったばかりの井戸からのみ。伝染病が発生しつつあり。負傷者多数、戦死者多数。ワルシャワ子が住むは廃墟。旧市街区は完全に破壊された。個人的なことだが、運が良いことに本日6日ぶりに洗濯ができた。パンについて聞くことはほぼない。数週間前には石炭貯蔵庫だった場所が今や病院となっている。状況はひどい。中央地区はまだポーランドの手にある。多くの通りでは、組織的に家が一軒一軒破壊されている。

ヴィスワ川向こうのロシア軍の気配は——、神よ、なぜ彼らは渡河しないのですか？

9

旧市街地区：“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ボヴォンズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲットーの廃墟、1943年に破壊された。

ワグニェ工業地域。チェルニャコフスカ通り。ブラガ地区：ワグニェキ駅。キェルニェツ橋。ワルシャワ動物園、動物はいないが(進歩的なヤン・ジャビンスキ園長のおかげで)市外へ逃げるユダヤ人の一時避難所になっている。

## 降伏

ワルシャワで戦う兵士諸君！ 本日10月3日をもって、あらゆる戦闘行為の停止を命じる。よって停戦という決断によって出されるであろうあらゆる命令を、全兵士は遵守されたい。

民間人である市民は、市の司令官である私と文民政府によって出されたあらゆる避難命令に従うこと。正当なる大義の最終的勝利を信じて、最愛にして偉大なる恵まれた国家を信じて、共和国国旗に忠誠を誓い、自由ポーランドの兵士であり市民であり続けよう。

—“ブル”、〈国内軍〉最高司令官

10

ヴォラ地区：カーセリ広場。ボヴォンズキ墓地。カムレル家具製作所。警察署。ゲンシュフカ監獄とKZ。ワルシャワ強制収容所。ゴルチェフスカ通り。オホタ地区：ガス工場。浄水場。補助電話交換局。補助電話交換局。女性専用

中央地区：ボヴォシレ発電所。中央郵便局。ブルデンジャール高層ビル。中央駅。バヴォニア刑務所。プリユール宮殿。ワグニェ工業地域。チェルニャコフスカ通り。モコトワ地区：ワルシャワ中央印刷工場。警察指揮所。スウジェ

ゾリボルシェ地区：ダニヌク駅。ワルソフ広場。装甲列車「ペンツェーグ751」。“要塞”。城塞橋。ワルシャワ近郊地区：カンピナスの森。沼地と砂丘。活動している農場。放棄された農場。別荘。近代的な保健医療協会はピエラニーにある。

# 状況



旧市街地区：“水際”。王宮。サスキ庭園。国立造幣局。グジボフスキ広場。聖ラザロ病院。聖十字架教会。シュレドニコヴィ橋。ボヴォンズコフスカ通りとレシュノ通りに挟まれたゲッターの廃墟、1943年に破壊された。

ワグニェ工業地域。チェルニャコフスカ通り。ワグニェ工業地域。チェルニャコフスカ通り。ワグニェ工業地域。チェルニャコフスカ通り。

## 〈ラジオ放送局いかづち〉 ならびに状況管理シート

このシートを両面印刷すると、一方は〈ラジオ放送局いかづち〉で、もう一方は〔状況要素〕や気になった〔脇役〕、重要な場所など記憶に残る事柄を書き留められるようになっていきます。プレイにご活用ください。

またワルシャワ市中の要所を欄外に記しています。もし手っ取り早く興味深い地点をピックアップする必要がありますがありましたら参照ください。